

授業科目名	幼児理解			科目コード	K1402L03
英文名	Understanding of Infants				
科目区分	子どもの発達と環境				
職名	准教授 非常勤講師	担当教員名	河崎 美香 嶋野 珠生		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	2限目		
開講時期	2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	幼児理解は、幼稚園教育のあらゆる営みの基本となるものである。乳幼児期の親子関係、幼児の発達の原理や基盤となる理論の知識を身に付け、幼児理解を深めるための保育者の見方や関係論的視点について理解する。幼稚園における幼児の生活や遊びの実態に即して、幼児の発達や学び及びその過程で生じるつまずき、その要因を把握するための原理や対応の方法を考えることができる。幼児理解に関連する具体的実践事例を通し、保護者支援や特別支援教育との関連を理解する。(担当教員： 1～10回 幼稚園教諭の実務経験あり、11～15回 保育巡回相談及び保育カウンセラーとしての実務経験あり)				
キーワード	幼児の発達	幼児の生活と遊び	学びの過程	具体的実践力	関係論的視点
到達目標	幼児理解の意義を理解し、幼児の発達や学びを捉える原理を理解することができる。(20%)				
	幼児理解を深めるための教師の基礎的態度を理解することができる。(20%)				
	幼児理解のための観察記録や観察法、個と集団の関係を捉える意義や方法等、幼児理解の方法を具体的に理解することができる。(20%)				
	幼児の発達や学び、その過程で生じるつまずき、その要因を把握するための原理や対応の方法を考えることができる。(20%)				
	保護者の心情や基礎的な対応の方法を理解することができる。(20%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本講義の概要、幼児理解の必要性（河崎美香） 幼児教育における幼児理解の概観と、本講義の流れ理解する。 幼児期にふさわしい生活として、乳幼児期の発達課題や自発的使用の原理等の視点から幼児理解の意義、必要性を理解する。	
	【予習】テキスト第1章を読む	90分
	【復習】幼児理解の必要性について整理する	90分
第2回	幼児教育の特質と幼児理解（河崎美香） 幼児理解のあり方を幼児教育の特質と関連付け、小学校教育との違いや生涯学習の視点から学ぶ。 幼児の主体的な生活やプラスの原体験を育む生活の重要性及び学校生活の基盤となる力との関連について理解する。	
	【予習】幼児教育と小学校教育の共通点と違いについて調べる	90分
	【復習】幼児期の特質を整理し、幼児の主体的な生活やプラスの原体験を育む生活の重要性及び学校生活の基盤となる力についてまとめる 本日の課題 へ提出してください	90分
第3回	保育者の姿勢と幼児に対する共感的理解（河崎美香） 幼児理解を深めるための保育者の見方や基礎的な態度について学ぶ。保育者の役割としての信頼関係の確立や共感的理解の意義と方法について理解する。	
	【予習】テキスト第13章を読む	90分
	【復習】保育者の役割や態度、共感的理解や肯定的見方について整理する 本日の提出課題 に格納	90分
第4回	わが国の法規等から見た子ども観（河崎美香） 学習指導要領全体の向かう方向性(「資質・能力」の3つの柱)、幼稚園教育要領に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等について学び、幼児理解を深める。 色鉛筆などを持参のこと	
	【予習】テキスト第4章を読む	90分
	【復習】「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について、各領域の相互性と総合性について関連付けて整理する 本日は、紙媒体による課題提出となります(シラバスには格納しません)。	90分
第5回	「楽しさ」の教育的意義と幼児理解（河崎美香） 指導計画のねらいや内容として「～を楽しむ」「楽しく～する」の記述について、「楽しさ」の教育的意義について、岸井勇雄の理論から学ぶ。子どもの生活や遊び場面の中の「楽しさ」について例示をもとに学び、保育者のあり方について理解を深める。	
	【予習】テキスト第2章3,4節、第5章1節を読む	90分
	【復習】楽しさの教育的意義について整理し、考察する 本日の提出課題 に格納(本日で)	90分
第6回	個と集団の関係からみる幼児理解 個性と道徳性（河崎美香） 事例「アリをめぐる生命の話し合い」「片付けも遊び」を取り上げ、個と集団の捉え方や幼児理解、援助について学ぶ。	
	【予習】テキスト第11章読む	90分
	【復習】授業で取り上げた事例について考察する	90分
第7回	個と集団の関係からみる幼児理解 幼児の社会性の発達（河崎美香） 事例「ブランコの取り合い」を取り上げ、個とグループ内の関係が時間経過とともにどのように変容していくかを捉え、幼児理解と援助について学ぶ。	
	【予習】テキスト第9章3,4,5節を読む	90分
	【復習】授業で取り上げた事例について考察する	90分

第8回	行動観察による幼児の内面理解 （河崎美香） 子どもの内面を理解するために、子どもの行動を観察、記録、評価する方法について学ぶ。	
	【予習】テキスト第6章を読む	90分
	【復習】保育観察と記録の意義について整理する	90分
第9回	特別な支援を必要とする幼児の理解 （河崎美香） 特別な支援を必要とする幼児を中心に、個別支援のあり方、集団の中での援助、子ども同士の育ち合いについて学ぶ。	
	【予習】テキスト第12章を読む	90分
	【復習】障害に応じた個別支援のあり方と集団の中での支援の意義について整理し、考察する	90分
第10回	幼児を知るための保護者理解 （河崎美香） 保護者の心情や幼児教育を取り巻く現状を踏まえ、保護者支援や家庭との連携の方法について理解を深める。	
	【予習】テキスト第14章を読む	90分
	【復習】保護者支援や家庭との連携の方法について整理し、考察する	90分
第11回	事例から学ぶ「子どもの思いを受け止める—母を思う子どもの気持ち」 保育現場でのエピソード記述を読み理解を深める、DVD教材を用いて子どもの姿のイメージを高める。(嶋野珠生)	
	【予習】事前に配布するプリント（エピソード記述）を読んでおく。	90分
	【復習】授業で取り上げた事例について考察する	90分
第12回	事例から学ぶ「子どもの思いを受け止める—トラブル場面で子どもの思いを受け止める」 保育現場でのエピソード記述を読み理解を深める。、DVD教材を用いて子どもの姿のイメージを高める。(嶋野珠生) 授業配布資料	
	【予習】事前に配布するプリント（エピソード記述）を読んでおく。	90分
	【復習】授業で取り上げた事例について考察する 振り返りシート 提出は へ	90分
第13回	事例から学ぶ「家族関係のなかの子どもの思い」 保育現場でのエピソード記述を読み理解を深める。、DVD教材を用いて子どもの姿のイメージを高める。(嶋野珠生)	
	【予習】事前に配布するプリント（エピソード記述）を読んでおく。	90分
	【復習】授業で取り上げた事例について考察する	90分
第14回	事例から学ぶ「障害児保育」 保育現場でのエピソード記述を読み理解を深める。(嶋野珠生)	
	【予習】事前に配布するプリント（エピソード記述）を読んでおく。	90分
	【復習】授業で取り上げた事例について考察する	90分
第15回	事例から学ぶ「エピソード記述を用いた保育ケース会議から学ぶ」園内ケース会議を通じた子どもの理解と援助の実践を学ぶ。(嶋野珠生)	
	【予習】事前に配布するプリント（エピソード記述）を読んでおく。	90分
	【復習】保護者支援や家庭との連携の方法について整理し、考察する	90分

第16回	筆記試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	1. 全15回の授業内ワークシート及びコメントシート(60%程度)、レポート課題(20%)、期末試験(20%)で評価する。 2. 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	嶋野：各授業において必要に応じてプリントを配布する	使用資料 <参考図書>	各授業において必要に応じて紹介する。 参考図書：「鯨岡峻／鯨岡
授業外学修等	次回分のテキスト・資料の予習をしておくこと。		
授業外質問方法	嶋野：研究室（富山短期大学F館の511号室）へ直接来ること 河崎：オフィスアワーに研究室に来ること		
オフィス・アワー	水曜13:10～14:40 河崎研究室(C205)		